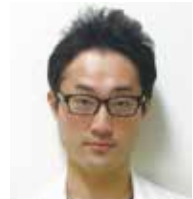


10月24日(金)

8:30~10:00 CTO



コーディネーター
小林 範弘
済生会横浜市東部病院

座長
小堀 裕一 戸田中央総合病院
芹川 威 福岡和白病院

Antegrade firstか?retrograde firstか?

鈴木 孝英 JA北海道厚生連 旭川厚生病院

Antegrade punctureの注意点と方法

落海 祐介 広島ハートセンター

IVUS guidelに行くのか?retrograde approachに行くのか?

石原 昭三 耳原総合病院

Collateral channelの選び方、通し方、注意点

杉本 篤彦 相模原協同病院

Reverse CART時の注意点と方法

嘉納 寛人 心臓血管研究所付属病院

高度石灰化を伴うCTOの注意点と対処法

保坂 文駿 岡村記念病院

11:00~12:30 Imaging



コーディネーター
山本 哲也
神戸大学

座長
蔵満 昭一 札幌心臓血管クリニック
奥津 匡暁 東海大学医学部付属八王子病院

IVUS/OCTの原理から複雑病変への治療につながる読影術

日比 潔 横浜市立大学医学部

エビデンスに基づく網羅的なイメージング所見～合併症予測から至適エンドポイント～

山本 哲也 神戸大学医学部附属病院

病理を理解することでわかる石灰化病変イメージング

中澤 学 近畿大学

イメージングを使用した石灰化治療戦略～デバイスの決定からエンドポイント～

近江 晃樹 日本海総合病院

CTを使用した術前のPCIプランニング

仲野 泰啓 九州大学病院

Complex Cardiovascular Therapeutics 2025

CCT 2025

会 期

2025年 10月23日(木)～24日(金)

会 場

神戸国際展示場 2号館 Coronary Theater 3

Fellow Course



Web URL ● <https://cct.gr.jp/> Find us on

Facebook ● <https://www.facebook.com/CCTJAPAN/>



Fellow Course CCT2025



CCT Supervisory Director
那須 賢哉 三重ハートセンター

CCT2025のFellow Courseでは、Complex PCIを行う術者が学ぶべき基礎的な知識やTips and tricksを網羅しています。
病変評価にとって欠かせないイメージング、日常臨床において分岐部病変、石灰化病変、CTO病変の中でもより難易度の高い病変を安全にそして効果的に治療するノウハウを学ぶ機会を提供したいと考えています。
同時に一定の確率で遭遇しうる合併症に対するマネジメントと予防を学ぶコースもご用意しております。日常臨床へのフィードバックへの材料として、是非ご活用ください。

10月23日(木)

8:30~10:00 分岐部



コーディネーター
山口 智大
大阪公立大学医学部付属病院

薬剤溶出性ステントや薬剤溶出性バルーンなどのデバイスの進化によってPCIの成績は日進月歩、格段に進歩しております。これに伴ってPCIの治療戦略は多岐にわたっており、治療戦略の立て方に「答え」は存在せず、多岐にわたる戦略が考えられています。自分の戦略を立てる上で、重要な鍵となるのが「分岐部」に対する考え方です。大きな側枝を失ってしまい後悔するといったことは皆、必ず経験しています。このセッションでは、重要な側枝を失わず、良好な長期成績を得るために必要な考え方をレクチャー頂きます。まずは分岐部病変に関する基礎知識の復習と最新のエビデンスを概説頂き、最終的に用いるデバイス選択の考え方を学びます。その後、具体的な側枝保護と分岐部処理の手順や「引き出し」を共有します。最後に、CTO病変で活用されている「tip detection法」を用いたIVUS ガイドでの側枝処理をひとつの武器として学んで頂きます。経験豊富な先生方から実際の手技の考え方や手順を学び、明日の症例から生かせるように是非一緒に学びましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

座長
嶋田 芳久 城山病院
吉川 糧平 三田市民病院

分岐部病変の基礎とイメージングの活用法

名越 良治 大阪府済生会中津病院

分岐部病変におけるデバイス選択
～ステント留置かDCBか～

松尾 浩志 八尾徳洲会総合病院

側枝保護と分岐部最適化のための手技

福原 怜 兵庫県立尼崎総合医療センター

分岐部における“plaque modification”の重要性

片岡 亨 ベルランド総合病院

非CTO病変における”tip detection法”の活用法

鈴木 智詞 近畿大学奈良病院

10月23日(木)

11:00~12:30 合併症



コーディネーター
三軒 豪仁
博慈会記念総合病院

PCIデバイスやテクニックの進歩に伴い、治療対象となる病変はますます複雑化しており、それにあわせて若手から中堅の先生方が複雑病変の治療に携わる機会も増えています。複雑病変を治療する際には、合併症を予測し、予防し、さらに実際に起こった際には適切に対処できることが求められます。しかし、個々の医師が経験できる合併症の数には限りがあるため、「見たことがある」「どのように対応するのかを聞いたことがある」といった経験の積み重ねが、日常臨床で大きく役立つと考えます。また、その対処法を実際の場面でどのように実践するのかを理解しておくことも重要です。今回のセッションでは、手技ごとに起こりうる合併症とその対処法を幅広く学べる「合併症シリーズセッション」と、一つの合併症やその対応を深掘りする「Deep diveセッション」の二つをご用意しました。会場では、現地参加ならではの、両方向性のセッションを通じて、合併症マネジメントの力を一緒に磨いていきたいと思っています。より自信を持ってcomplex PCIに臨めるよう、ぜひ一緒に学びましょう。

座長
小川 崇之 東京慈恵会医科大学
三軒 豪仁 博慈会記念総合病院

Atherectomy deviceの合併症シリーズ (RotaやOAS特有の合併症とその回避・対処法)

加納 誠士 三重ハートセンター

デバイススタック合併症シリーズ (IVUSやwireやバルン等のスタックの機序と回避・対処法)

福原 怜 兵庫県立尼崎総合医療センター

CTO合併症シリーズ (CTO PCIにおけるchannel injury, donor arteryのイベント、などの合併症への対応)

田中 康太 桜橋渡辺未来医療病院

Deep Dive into Coronary Perforation ～Covered Stent留置する?しない?どこに?どうやって?～
(機序に応じた冠動脈穿孔の対処法)

下地頭一郎 済生会宇都宮病院

Deep Dive into Pericardiocentesis ～心タンポ合併するも、エコーガイド穿刺困難。どうする?～
(エコーガイド穿刺困難の心タンポにおけるアンギオガイド心嚢穿刺の方法、注意すべき点)

三軒 豪仁 博慈会記念総合病院